

平成23年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月13日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 エッチ・ケー・エス
 コード番号 7219 URL <http://www.hks-power.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 浩之
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 石川 敏明

TEL 0544-29-1111

四半期報告書提出予定日 平成23年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年8月期第1四半期の連結業績(平成22年9月1日～平成22年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年8月期第1四半期	1,311	△5.0	9	—	11	—	△5	—
22年8月期第1四半期	1,379	△25.9	△42	—	△81	—	△79	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年8月期第1四半期	△1.14	—
22年8月期第1四半期	△17.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%		円 銭	%
23年8月期第1四半期	9,676	—	7,832	—	80.7	1,700.49	—
22年8月期	9,468	—	7,897	—	83.2	1,714.47	—

(参考) 自己資本 23年8月期第1四半期 7,807百万円 22年8月期 7,873百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年8月期	—	0.00	—	10.00	10.00
23年8月期	—	—	—	—	—
23年8月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年8月期の連結業績予想(平成22年9月1日～平成23年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	2,800	5.4	0	—	0	—	0	—	0.00
通期	6,400	15.8	200	348.9	200	—	140	—	30.48

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年8月期1Q 5,022,000株 22年8月期 5,022,000株

② 期末自己株式数 23年8月期1Q 430,604株 22年8月期 429,651株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年8月期1Q 4,592,296株 22年8月期1Q 4,593,300株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半機レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については四半期決算短信(添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(7) 重要な後発事象	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間の世界経済は、新興国が順調に回復軌道を迎え、先進国は失業率の高止まりや財政問題などの懸念材料を抱えたまま新興国に牽引される形で推移しました。この好調な新興国と低調な先進国の景気局面の差が通貨戦争に発展するなど世界全体での回復に向けた足取りは重く、霧が晴れない状況が続いております。日本においては新興国向けの輸出が増加する中、個人消費では9月のエコカー補助金の終了、11月の家電エコポイント制度の見直しなどで駆け込み需要が発生し一時的に大幅な改善の動きが見られました。しかし、この景気刺激策が無くなることの影響は計り知れず、依然として先行き不透明な状況が続いております。

自動車業界においてはハイブリッドカーや電気自動車などが脚光を浴び、電機業界を巻き込んだ大規模な地殻変動が世界規模で進んでいる中、アフターパーツ市場では若年層の購買意欲減退などから市場規模の縮小が続いております。

このような中、当社グループはハイブリッドカーなどの環境対応車向けの商品開発に注力するとともに、中国などアジア新興国への海外展開を進め、更にはタイ国での天然ガス自動車事業の立上げや軽量飛行機用新型エンジンの開発を進めております。

当第1四半期連結会計期間の売上高については、水上バイク用スーパーチャージャーや天然ガス自動車などの受託生産・受託開発が増加しましたが、国内外のアフターパーツ販売が円高の影響もあり減少し、メーカーからの受託加工も減少した事により1,311百万円（前年同期比5.0%減）となりました。

損益面では、人件費、経費削減などが売上減少による減益要因を吸収し、営業利益9百万円（前年同期は42百万円の営業損失）、経常利益は11百万円（前年同期は81百万円の経常損失）、四半期純損失5百万円（前年同期は79百万円の四半期純損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ207百万円増加し、9,676百万円となりました。これは主にたな卸資産の増加額253百万円等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ273百万円増加し、1,844百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加額186百万円等および未払金他流動負債の増加額97百万円等によるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ65百万円減少し、7,832百万円となりました。これは主に剰余金の配当実施額45百万円および為替換算調整勘定の減少額15百万円等によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）残高は、前連結会計年度末に比べ41百万円増加し、1,992百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は160百万円（前年同期は373百万円の増加）となりました。これは主にたな卸資産の増加による資金の減少額262百万円等がありましたが、仕入債務の増加による資金の増加額190百万円、未払金他流動負債の増加による資金の増加額94百万円、減価償却費86百万円および賞与引当金の増加額61百万円等があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は40百万円（前年同期は59百万円の増加）となりました。これは主に設備投資等有形固定資産の取得による支出32百万円等があったこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は73百万円（前年同期は116百万円の減少）となりました。これは配当金の支払額40百万円および借入金の返済による支出32百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年10月15日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益および経常利益は61千円、税金等調整前四半期純利益は2,021千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,301,706	1,268,914
受取手形及び売掛金	740,899	736,677
有価証券	750,000	750,000
製品	1,166,023	1,045,236
仕掛品	316,583	253,365
原材料及び貯蔵品	552,278	482,524
その他	266,474	271,546
貸倒引当金	△12,465	△12,370
流動資産合計	5,081,499	4,795,893
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,527,188	1,553,874
機械装置及び運搬具(純額)	562,503	585,711
土地	1,978,377	1,980,689
その他(純額)	115,263	125,584
有形固定資産合計	4,183,333	4,245,859
無形固定資産		
のれん	5,255	5,838
その他	55,435	37,137
無形固定資産合計	60,690	42,976
投資その他の資産		
投資有価証券	44,782	43,123
その他	364,355	399,167
貸倒引当金	△57,993	△58,319
投資その他の資産合計	351,145	383,971
固定資産合計	4,595,169	4,672,807
資産合計	9,676,669	9,468,701
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	703,666	517,136
短期借入金	163,744	189,832
未払法人税等	6,913	15,685
賞与引当金	125,775	64,618
その他	467,304	370,038
流動負債合計	1,467,404	1,157,311
固定負債		
長期借入金	116,190	128,460
退職給付引当金	148,616	142,855
役員退職慰労引当金	108,110	142,340
資産除去債務	4,077	—
固定負債合計	376,994	413,655
負債合計	1,844,398	1,570,966

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	878,750	878,750
資本剰余金	963,000	963,000
利益剰余金	6,289,556	6,340,747
自己株式	△158,663	△158,397
株主資本合計	7,972,642	8,024,100
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△198	△901
為替換算調整勘定	△164,786	△149,723
評価・換算差額等合計	△164,985	△150,624
少数株主持分	24,613	24,259
純資産合計	7,832,270	7,897,734
負債純資産合計	9,676,669	9,468,701

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年9月1日 至平成21年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成22年11月30日)
売上高	1,379,816	1,311,421
売上原価	803,474	760,440
売上総利益	576,342	550,981
販売費及び一般管理費	619,283	541,420
営業利益又は営業損失(△)	△42,940	9,560
営業外収益		
受取利息	2,870	1,253
受取配当金	—	1
為替差益	—	1,713
その他	4,690	2,548
営業外収益合計	7,560	5,516
営業外費用		
支払利息	2,589	1,694
為替差損	40,247	—
その他	2,816	1,980
営業外費用合計	45,653	3,674
経常利益又は経常損失(△)	△81,033	11,401
特別利益		
固定資産売却益	—	4,599
投資有価証券売却益	510	—
貸倒引当金戻入額	4,454	140
特別利益合計	4,964	4,740
特別損失		
固定資産売却損	97	89
固定資産除却損	1,255	3,855
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	1,960
特別損失合計	1,353	5,904
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△77,421	10,237
法人税、住民税及び事業税	5,502	4,139
法人税等調整額	△4,150	11,279
法人税等合計	1,352	15,419
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△5,181
少数株主利益	442	85
四半期純損失(△)	△79,217	△5,267

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成21年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成22年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△77,421	10,237
減価償却費	99,442	86,957
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,160	△140
賞与引当金の増減額(△は減少)	41,250	61,157
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△2,459	5,761
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,607	△34,230
受取利息及び受取配当金	△2,870	△1,254
支払利息	2,589	1,694
為替差損益(△は益)	25,479	△1,854
有形固定資産除売却損益(△は益)	1,353	△654
投資有価証券売却損益(△は益)	△510	—
売上債権の増減額(△は増加)	234,414	△5,774
たな卸資産の増減額(△は増加)	△173,400	△262,170
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△11,975	16,021
仕入債務の増減額(△は減少)	266,669	190,768
その他の流動負債の増減額(△は減少)	38,206	94,607
未払消費税等の増減額(△は減少)	△41,139	2,976
その他	△86	△650
小計	397,988	163,450
利息及び配当金の受取額	4,291	1,297
利息の支払額	△2,600	△1,695
法人税等の支払額	△26,278	△11,423
法人税等の還付額	—	9,193
営業活動によるキャッシュ・フロー	373,400	160,822
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△75,140	△59,368
定期預金の払戻による収入	84,839	67,585
有形固定資産の取得による支出	△50,394	△32,166
有形固定資産の売却による収入	0	5,459
無形固定資産の取得による支出	—	△21,505
投資有価証券の売却による収入	100,510	—
その他	57	△285
投資活動によるキャッシュ・フロー	59,873	△40,279
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△23,400	△4,294
長期借入金の返済による支出	△52,902	△28,342
自己株式の取得による支出	—	△265
配当金の支払額	△40,099	△40,177
財務活動によるキャッシュ・フロー	△116,401	△73,079
現金及び現金同等物に係る換算差額	△43,691	△6,358
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	273,181	41,104
現金及び現金同等物の期首残高	1,710,669	1,951,271
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,983,850	1,992,376

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成21年9月1日至平成21年11月30日)

事業の種類として「自動車等の関連部品事業」および「超軽量小型飛行機事業」に区分しておりますが、当第1四半期連結累計期間については、全セグメントの売上高の合計および営業利益の合計額に占める「自動車等の関連部品事業」の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成21年9月1日至平成21年11月30日)

	日本 (千円)	ヨーロッパ (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去または 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	1,065,100	86,773	187,764	40,177	1,379,816	—	1,379,816
(2) セグメント間の内 部売上高または振 替高	113,720	24	893	4,196	118,834	(118,834)	—
計	1,178,821	86,798	188,657	44,374	1,498,651	(118,834)	1,379,816
営業利益または営業損失 (△)	△29,716	2,560	16,662	655	△9,838	(33,102)	△42,940

- (注) 1. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。
2. 本邦以外の区分に属する主な国または地域
(1) ヨーロッパ…イギリス
(2) 北米…アメリカ
(3) アジア…タイ

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自平成21年9月1日至平成21年11月30日)

	ヨーロッパ	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	97,968	193,259	168,675	9,637	469,539
II 連結売上高(千円)					1,379,816
III 連結売上高に占める海外売上高の 割合(%)	7.1	14.0	12.2	0.7	34.0

- (注) 1. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。
2. 本邦以外の区分に属する主な国または地域
(1) ヨーロッパ…イギリスその他欧州域内諸国
(2) 北米…アメリカ
(3) アジア…東南アジア、東アジア、西アジア
(4) その他の地域…オセアニア、南アメリカ、アフリカ
3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。
4. ヨーロッパ、北米以外の地域は、従来「その他の地域」として一括掲載しておりましたが、アジア地域の重要性が増大したため、当第1四半期連結累計期間より「アジア」として区分掲記することとしました。
なお、前第1四半期連結累計期間の「アジア」は215,348千円(11.6%)、「その他の地域」は31,832千円(1.7%)であります。

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自 平成22年9月1日 至 平成22年11月30日）

当社グループの報告セグメントは、「自動車等の関連部品事業」のみであり、「その他の事業」の重要性が乏しいため、記載を省略しております。

（追加情報）

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（7）重要な後発事象

当第1四半期連結会計期間（自 平成22年9月1日 至 平成22年11月30日）

当社は平成22年12月9日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議し、自己株式の取得を以下のとおり実施いたしております。

（1）自己株式取得に関する取締役会の決議内容

① 取得する株式の種類

当社普通株式

② 取得する株式の総数

150,000株（上限）

③ 取得価額の総額

52,500,000円（上限）

④ 取得の方法

大阪証券取引所における市場買付

⑤ 取得の日程

平成22年12月10日～平成23年8月31日

（2）その他

上記決議に基づき、平成22年12月10日からこの四半期報告書提出日までに取得した自己株式は次のとおりであります。

取得した株式の総数 103,000株

取得価額の総額 30,111千円